

1. 単元名 「クイズ大会をしよう」(第5学年)

2. 単元設定の理由

- 本学級の児童は、5年生の1学期に11時間の外国語活動を行ってきている。そのうち2時間が、GTとの授業であった。年間を通して、英語ノート1を使って外国語活動を進める計画である。
 - 第1単元「世界のこんにちはを知ろう」では、世界の国々の挨拶を聞いたり、言ったりしている。また、名刺を作り友達と挨拶をしあって、コミュニケーションを楽しむ活動を行ってきている。
 - 第2単元「ジェスチャーをしよう」では、感情や様子を表す英語表現を聞いたり、その表現やジェスチャーを使って、自分の感情を伝えたり、相手の様子を聞いたりして、多くの友達とコミュニケーションを図る活動を行ってきている。
 - 第3単元「数で遊ぼう」では、1～20の数を取り上げ、数を使った歌やゲームを通して、その英語表現に親しんできている。また、漢字の画数を題材としたゲームを行い、友達と活発にコミュニケーションを図る活動を行ってきている。
 - 第4単元「自己紹介をしよう」では、自分の名前と自分の好きなものについて自己紹介する活動を行ってきている。食べ物、飲み物、動物、スポーツなどの中から好きな物を友達に伝えたり、友達から聞いたりしてきている。
- 単元が進むごとに、いろいろな友達と話すことに慣れ、コミュニケーションをとる範囲も広がってきている児童が多いが、英語表現になると相手と話すことに不安を感じ、コミュニケーションをとることに抵抗がある児童もいる。
 - そこで、本単元では、「クイズ」という興味をもちやすい形式を取り入れ、自分から伝えたいという思いを強くもち、コミュニケーションを図ろうという意欲を高めるようにしたい。
- 本単元では、“What’s this?”と問うクイズを作り、英語表現を使ってクイズ大会をすることで、積極的にGTや担任、友達と関わろうとすることを目標としている。「シルエット・クイズ」や「ブラック・ボックス・クイズ」などは、視覚や触覚などの情報がヒントとなるため、児童は“What’s this?”と言うだけでよいので、表現するときの負担があまりかからない。また、クイズを作ったり、出し合ったりすることで、英語表現を使ってコミュニケーションを図る楽しさを多く感じさせることもできると考える。
- 指導にあたっては、まず、“What’s this?”を使う場面として、「ピクチャー・クイズ」や「ブラック・ボックス・クイズ」などを取り上げる。単元の学習の最後に、グループで考えたクイズを出し合うクイズ大会を行うことを知らせ、自分たちが実際にクイズをする時の手がかりとなるようないろいろなクイズを体験させる。第1・2時で、GTの国と日本の文化を比較できるような内容や身近なことでも新たな発見があるような内容のクイズを体験させることで、自分たちもクイズを作ったり答えたりしたいという意欲をもたせたい。第3時では、グループでクイズを見直すことで友達と関わる機会を増やし、友達同士で互いに教え合い励まし合えるようにしたい。第4時のクイズ大会では、隣のクラスの友達とクイズを出し合うことで、相手意識をもたせ、楽しいクイズ大会にしたいという思いを単元の最後まで持続させたい。また、一人ひとりの児童が、英語表現を使ったクイズを作ったり、クイズを解いたりすることができたという達成感を味わえるようにしたい。

3. 目標

- G Tや担任、友達の出すクイズを通して、G Tの国の文化や自分たちの身の回りの物に対して、新たな興味をもつ。(言語や文化に関する気付き)
- 積極的にG Tや友達と関わり、クイズを作ったり、「これは何ですか。」と質問したり、答えたりする。(コミュニケーションへの関心・意欲・態度)
- 「これは何ですか。」と尋ねたりヒントをもらったりする時の英語表現を使って、クイズをする。(外国語への慣れ親しみ)

4. 単元構成の考え方

英語ノートの単元構成は、初めに、自分たちでクイズを解く活動から入り、最後には、自分たちで問題を考え、クイズ大会を行うという流れになっている。クイズ形式にすることで、子ども達の知的好奇心を刺激しながら、“What’s this?”という英語表現に繰り返し触れさせることができるという良さがある。また、クイズを解いているうちに、「自分たちも表現する側になりたい。」という意欲を高めることができるという良さがある。

そこで、「出会う段階」では、G Tの国に関するクイズを取り上げることで、外国の文化をより身近に感じ、「他の国のことをもっと知りたい。」という意欲につなげたい。また、単元の最後に隣のクラスとクイズ大会をすることを知らせることで、相手意識と目的意識をはっきりもち、本単元のめあてをつかむことができるようにしたい。

「関わる段階」では、第4時のクイズ大会で使えるように、多様な内容や方法のクイズを体験させる。そのことで、自分が出したいクイズの内容や方法を見つけることができるようにする。さらに、クイズを作る、解く活動を通して、学級の友達と関わる楽しさを味わうことができるようにする。

「表現する段階」では、さらにコミュニケーションの対象を隣の学級へと広げ、クイズ大会を行う。クイズ大会では、自分の考えたクイズを相手に楽しんでもらったり、アイデアの良さを認めてもらったりすることで、達成感や満足感を味わわせたい。

5. 単元構成・評価規準（全4時間 ○は本時）

段階	時	ねらい	評価の観点			活動 / 評価規準	表現例
			言	コ	慣		
出会う	1	G Tの出すクイズを通して、G Tの国の文化や自分たちの身の回りの物に、新たな興味をもつ。	◎			活動名「ピクチャー・クイズ」 「イギリスクイズ」 （G Tが出すクイズ） 「漢字クイズ」 評価規準 クイズを通して、日本と他の国との文化を比べながら違いに気付いている。	What's this? Hint, please. The color is red. Try again.
	2	“What's this?” “Hint, please.” “That's right.” などの英語表現を使って、クイズをする。			◎	活動名「ブラック・ボックス・クイズ」 「シルエット・クイズ」 「ボックス・クイズ」 「ジェスチャー・クイズ」 評価規準 G Tの発音をよく聞き取り、まねをしようとしている。	What's this? It's a bird. That's right.
関わる	③	積極的に担任や友達と関わり、クイズを作って、クラスの友達と「ミニクイズ大会」をする。			◎	活動名「ミニクイズ大会をしよう」 評価規準 友達と協力して、クイズを見直している。	What's this? Close. That's a good idea. I don't know. One more please.
	4	積極的に友達と関わり、「クイズ大会」をする。			◎	活動名「クイズ大会をしよう」 評価規準 自分たちの作った問題や問題の答えを相手に伝えようとしている。	What's this? It's ~. Here you are. Thank you.

5 学年「What's this? クイズ大会をしよう」

単元の評価規準

<p>単元目標 1. GTや担任、友達の出すクイズを通して、GTの国の文化や自分たちの身の回りの物に対して、新たな興味をもつ。</p> <p>2. 積極的にGTや友達と関わり、クイズを作ったり、クイズを出し合ったりする。</p> <p>3. 「これは何ですか」と尋ねたりヒントをもらったりする時の英語表現を使って、クイズをする。</p>			
<p>評価規準 ○ GTや担任、友達の出すクイズを通して、GTの国の文化や自分たちの身の回りの物に、新たな興味をもっている。</p> <p>○ GTや友達に、「これは何ですか」と質問したり、答えたりしながら積極的に関わろうとしている。</p> <p>○ “What’s this?” “Hint, please.” “That’s right.”などの英語表現を使って、互いに尋ねたり答えたりしながらクイズをしている。</p>			
観点	評価場面と方法	おおむね満足な姿	おおむね満足する姿に達しない場合の考えられる支援
言語や文化に関する気付き	<p>【第1時】 GTや担任の出すクイズをしている場面 (行動観察) (自己評価)</p>	<p>○ クイズを通して、日本と他の国との文化を比べながら聞き、気が付いたことを発言したり、自己評価カードに書いたりしている。</p> <p>・「救急車の色が日本と違うと思わなかった。」</p>	<p>○ クイズの中に出てくる日本と他の国との文化の違いに興味を示していない。</p> <p>・クイズに正解するかどうかだけを気にしている。</p> <p>※近くに寄りそい、文化の違いに気付くような声かけをし、興味を喚起させる。</p>
コミュニケーションへの関心・意欲・態度	<p>【第3時】 友達と一緒にクイズを見直している場面 (行動観察) (発表観察) (自己評価)</p>	<p>○ 友達と協力して、クイズを見直している。</p> <p>・「もっとよいクイズにするために、グループの友達と相談しよう。」</p>	<p>○ クイズを見直していない。</p> <p>・改善点を見つけようとしていない。</p> <p>※周囲にいる児童に誘うように声かけをする。</p>
	<p>【第4時】 クイズ大会をしている場面 (行動観察) (発表観察) (作品観察) (自己評価)</p>	<p>○ 自分たちの作った問題や問題の答えを相手に伝えようとしている。</p> <p>・問題を出したり、答えたりすることを楽しんでいる。</p>	<p>○ クイズに参加していない。</p> <p>・友達任せになっている。</p> <p>※ヒントの出し方や尋ね方をアドバイスする。</p>
外国語への慣れ親しみ	<p>【第2時】 GTや担任の出すクイズをしている場面 (行動観察) (自己評価)</p>	<p>○ GTの発音をよく聞き取り、まねをしようとしている。</p> <p>・“What’s this?” “Hint, please.”をみんなと一緒に使ってクイズに参加している。</p>	<p>○ 一人では、聞き取れず、まねをしようとしていない。</p> <p>・みんなが英語で言っているのに一緒に言おうとしない。</p> <p>※横に寄り添って一緒に言う。友達と一緒に言うように声をかける。</p>

6. 本時

平成22年11月11日 (木)

7. 本時の目標

- 積極的に担任や友達と関わり、クイズを作って、クラスの友達と「ミニクイズ大会」をする。

8. 本時指導の考え方

- 本時は、クイズを作って、クラスの友達と「ミニクイズ大会」をすることを通して、積極的に担任や友達と関わることをねらいとしている。児童は、前時までに体験した、「イギリスクイズ」(GTからのクイズ)「シルエット・クイズ」「ブラック・ボックス・クイズ」「ピクチャー・クイズ」「漢字クイズ」「ボックス・クイズ」「ジェスチャー・クイズ」などを参考にしてクイズを作っているところである。グループの友達と相談してクイズの内容や方法、ヒントを出す順番を工夫した後、ミニクイズ大会をする。英語での言い方が分からない時のために、英語絵辞典などを用意しておく。

また、本番のクイズ大会は、隣のクラスと行うことを確認し、相手意識を明確にすることで、次時への意欲へとつなげたい。

このように、クイズを見直す活動や「ミニクイズ大会」を通して、友達と積極的にコミュニケーションを図る楽しさを味わわせたい。

9. 本時の展開

過程	児童の活動	教師の支援 (担任・GT)	教材・評価場面
あいさつ (2)	1 あいさつをする。	Hello, everyone. How are you?	
ウォームアップ (3)	2 チャンツ ♪ “What’s this?” ♪ をリズムに合わせて言う。	○ クイズに使う表現が取り入れられたチャンツを言わせる。	・ CD
めあて確認 (4)	3 めあてを確かめる。 ○ 「ミニクイズ大会」について話を聞く。	Today’s aim is this グループの友達と協力して、より楽しいクイズになるように工夫しよう。	
コミュニケーション活動 (30)	4 グループでクイズを見直す。 ○ グループで「シルエット・クイズ」「ブラック・ボックス・クイズ」「ピクチャー・クイズ」「漢字クイズ」「ボックス・クイズ」「ジェスチャー・クイズ」などのクイズの言い方を練習したり、ミニクイズ大会の役割	○ グループを回り、児童がクイズを考えている様子をよく観察して、工夫している点をほめる。 ○ 友達との関わりの良いところを児童に伝える。	・ 漢字カード ・ ピクチャーカード 友達と一緒にクイズを見直している場面 ○ 友達と協力して練習したり、役割分担をしたりしている。 (コミュニケーションへの関心・意欲・態度)

	分担をしたりする。 5 「ミニクイズ大会」をする。 ○ 各グループを回り、クイズを解く。	○ クイズを出している児童に質問したり、クイズに答えたりするようにさせる。	
振り返り (5)	6 振り返りカードに記入し、感想を交流する。		・振り返りカード
	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・ 友達と協力して、クイズを見直しましたか。 ・ 隣のクラスとのクイズ大会が楽しみになりましたか。 </div>		
あいさつ (1)	7 あいさつをする。 Thank you.	That's all for today.	

● 本時活動の詳細

「ミニクイズ大会」

○ 進め方

- ① ミニクイズ大会のルールを確認する。
 - ・ 班ごとに前半クイズを出す人と、後半クイズを出す人に分かれる。
 - ・ クイズを出す人は、自分の班の場所で来た人にクイズを出し、用紙に点数を書く。
 - ・ 答える人は、各班を回ってクイズに答え、用紙に点数を書いてもらう。
 - ・ 前半・後半終えて、合計点数の多いグループが勝ち。
- ② 練習をする。
 - ・ それぞれの班のクイズの種類に応じて、問題の出し方の練習をする。
- ③ 各グループを回り、クイズを解く。
 - ・ 他の班の場所に行き、班で協力しながら、その班が出すクイズに答える。
- ④ 前半と後半を交代する。

○ 準備

各グループのクイズのカード、得点表、タイマー、英語絵辞典

【クイズの進め方の会話例】(ピクチャー・クイズ)

出題者	1 st hint. This is a fruit. What's this?
解答者	It's a banana.
出題者	Sorry, try again. 2 nd hint. This is red. What's this?
解答者	It's a strawberry.
出題者	Sorry, try again. 3 rd hint. Look. What's this?
解答者	It's an apple.
出題者	That's right.

授業改善のポイントと修正指導案

●第3時目標 (3/4)

○ 積極的に担任や友達と関わり，ミニクイズ大会をしたり，クイズの見直しをしたりする。

改善ポイント
ミニクイズ大会の後，お互いにアドバイスをし合い，グループ内でクイズの見直しを行うようにする。

●展開

過程	児童の活動	教師の支援 (担任・GT)	教材・評価場面
あいさつ (2)	1 あいさつをする。	Hello, everyone. How are you?	
ウォームアップ (3)	2 チャンツ ♪ “What’s this?” ♪ をリズムに合わせて言う。	○ クイズに使う表現が取り入れられたチャンツを言わせる。	・CD
めあて確認 (4)	3 めあてを確かめる。 ○ 「ミニクイズ大会」について話を聞く。	Today’s aim is this. グループの友達と協力して，より楽しいクイズになるように工夫しよう。	
コミュニケーション活動 (30)	4 「ミニクイズ大会」をする。 <u>(1) ミニクイズ大会のルールを確認する。</u> <u>(2) 練習をする。</u> <u>(3) 各グループをまわり，クイズを解く。</u> <u>(4) 前半と後半を交代する。</u> 5 クイズを見直す。 <u>見直す視点</u> ・他のグループのまねしたいところ ・自分のグループでうまく伝わらなかったところ	○ グループを回り，児童がクイズを考えている様子をよく観察して，工夫された表現をほめる。 ○ 友達との関わりの良いところを児童に伝える。 ・役割分担をしている。 ・グループ内でアドバイスをしあっている。 ○ <u>自分達のやってみた感想やアドバイスを持ち寄り，より楽しいクイズになるように工夫させる。</u> ・分かりやすい・楽しい	・漢字カード ・ピクチャーカード 友達と一緒にクイズを見直している場面 ○ 友達と協力して，クイズを見直している。(コミュニケーションへの関心・意欲・態度)
振り返り (5)	5 振り返りカードに記入し，感想を交流する。 ・ 友達と協力して，クイズを見直しましたか。 ・ 隣のクラスとのクイズ大会が楽しみになりましたか。		・振り返りカード
あいさつ (1)	6 あいさつをする。 Thank you.	That’s all for today.	